



Chacott

2027年2月期（2026年度）
上期

決算説明資料

2026年10月8日
ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

MISSION STATEMENT

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ

ヒトと地球に 潤いと彩りを

「社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営」により

地球と共生する「潤いと彩り」のある生活づくりに貢献する

『生活文化創造企業』

として前に進み続ける



01	連結実績・連結業績予想ハイライト	P3
02	2026年度 上期 連結実績	P7
03	2026年度 通期 連結業績予想	P11
04	Topics	P14
05	財務状況	P18
06	Appendix	P23

01

連結実績・連結業績予想
ハイライト

UNF/LO
アンフィーロ



2026年度 第2四半期・上期 連結実績ハイライト

	売上高	営業利益	純利益	EBITDA*
2Q	541 億円 前年同期比 +3.0% +15.8億円	5 億円 前年同期比 +28.5% +1.1億円	6 億円 前年同期比 +5.6% +0.3億円	19 億円 前年同期比 +11.5% +2.0億円
上期	1,175 億円 前年同期比 +4.3% +48.9億円	61 億円 前年同期比 +7.0% +4.0億円	56 億円 前年同期比 +16.6% +8.0億円	90 億円 前年同期比 +6.6% +5.5億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

- 2Qは天候不順等で厳しい事業環境だったが、前年同期比3.0%の増収を確保した。その結果上期の売上高は、前年同期比4.3%増収の1,175億円となった。戦略強化ブランドの『カシヤマ』（42.5%増収）、『アンフィーロ』（13.5%増収）、『J.PRESS』（15.2%増収）、『チャコット・コスメティクス』（23.9%増収）が牽引した。
- 営業利益は2Qで28.5%増益の5億円、上期で7.0%増益の61億円となった。上期の売上総利益率は、原材料等コストの上昇や在庫水準の適正化等の結果、1.0%低下して54.5%となった。一方で上期の販管費率は、店舗運営や販促プロモーションの効率化の徹底等により、1.2%改善して49.2%となった。
- 以上の結果、上期の純利益は16.6%増益の56億円、上期のEBITDAは6.6%増の90億円となった。

2026年度 通期 連結業績予想ハイライト

	売上高	営業利益	純利益	EBITDA※
下期	1,295 億円 前年同期比 +4.3% +53.1億円	67 億円 前年同期比 +13.5% +7.9億円	56 億円 前年同期比 +5.7% +3.0億円	98 億円 前年同期比 +12.0% +10.5億円
	売上高	営業利益	純利益	EBITDA※
通期	2,470 億円 前期比 +4.3% +102.0億円	128 億円 前期比 +10.3% +12.0億円	112 億円 前期比 +10.9% +11.1億円	188 億円 前期比 +9.3% +16.1億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

- 上期の業績が概ね計画通りに進捗していることから、通期の業績予想を据え置く。
- 引き続き事業環境の変化に対応した柔軟なマーケティング施策等を推進し、下期の売上高は前年同期比で4.3%増収の1,295億円、営業利益は13.5%増益の67億円、純利益は5.7%増益の56億円、EBITDAは12.0%増の98億円を予想する。
- 通期の売上高は4.3%増収の2,470億円、営業利益は10.3%増益の128億円、純利益は10.9%増益の112億円、EBITDAは9.3%増の188億円を予想する。

■ 配当方針について（創業100周年記念配当の実施）

- 2027年に創業100周年を迎えるにあたり、株主の皆さまへの感謝の意を表するため、2027年2月期の期末配当において、普通配当17円に加えて3円の記念配当を実施。
- この結果、2027年2月期の期末配当は20円となり、中間配当16円と合わせて、通期合計で36円の配当を実施する予定。

	中間配当	期末配当	合計
前回予想 (2026年4月9日公表)	16円00銭	17円00銭	33円00銭
今回修正予想	16円00銭	20円00銭 (普通配当17円00銭) (記念配当3円00銭)	36円00銭
前期実績 (2026年2月期)	14円00銭	16円00銭	30円00銭

23 

02

2026年度 上期
連結実績



2026年度 上期 連結実績

		上期実績		対2025年度		対公表値		
単位：百万円		2026年度	2025年度	公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
1	売上高	117,525	112,636	117,500	+4,889	+4.3%	+25	+0.0%
2	売上総利益	64,006	62,508	65,200	+1,498	+2.4%	△ 1,194	△ 1.8%
	対売上高比率	54.5%	55.5%	55.5%		△ 1.0%		△ 1.0%
3	販管費	57,867	56,772	58,800	+1,095	+1.9%	△ 933	△ 1.6%
	対売上高比率	49.2%	50.4%	50.0%		△ 1.2%		△ 0.8%
4	営業利益	6,139	5,736	6,400	+403	+7.0%	△ 261	△ 4.1%
	対売上高比率	5.2%	5.1%	5.4%		+0.1%		△ 0.2%
5	経常利益	5,936	5,521	6,200	+415	+7.5%	△ 264	△ 4.3%
	対売上高比率	5.1%	4.9%	5.3%		+0.2%		△ 0.2%
6	当期純利益	5,625	4,822	5,600	+803	+16.6%	+25	+0.4%
	対売上高比率	4.8%	4.3%	4.8%		+0.5%		0.0%
7	EBITDA※	8,961	8,408	9,300	+553	+6.6%	△ 339	△ 3.6%
	対売上高比率	7.6%	7.5%	7.9%		+0.1%		△ 0.3%

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費等

2026年度 上期 主要事業会社別実績

上期実績

単位：百万円			2026年度	2025年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	54,244	54,724	△ 480	△ 0.9%
		営業利益	3,029	2,516	+513	+20.4%
2	ウィゴー	売上高	16,357	15,715	+642	+4.1%
		営業利益	1,040	1,099	△ 59	△ 5.4%
3	オンワード パーソナルスタイル	売上高	5,463	3,834	+1,629	+42.5%
		営業利益	243	21	+222	+1057.1%
4	国内ファッション領域計	売上高	79,915	78,431	+1,484	+1.9%
		営業利益	4,361	3,587	+774	+21.6%
5	ヨーロッパ計	売上高	6,000	5,996	+4	+0.1%
		営業利益	△ 571	△ 211	△ 360	↘
6	アメリカ計	売上高	1,385	728	+657	+90.2%
		営業利益	4	△ 41	+45	↗
7	アジア計	売上高	4,531	3,871	+660	+17.0%
		営業利益	274	264	+10	+3.8%
8	海外ファッション領域計	売上高	11,916	10,595	+1,321	+12.5%
		営業利益	△ 293	12	△ 305	↘
9	ファッション領域計	売上高	91,831	89,026	+2,805	+3.2%
		営業利益	4,068	3,599	+469	+13.0%
10	チャコット	売上高	6,381	5,754	+627	+10.9%
		営業利益	763	749	+14	+1.9%
11	クリエイティブヨーコ	売上高	3,337	3,199	+138	+4.3%
		営業利益	230	204	+26	+12.7%
12	大和	売上高	12,511	11,531	+980	+8.5%
		営業利益	753	973	△ 220	△ 22.6%
13	コスメ・デ・ポーテ	売上高	916	-	-	-
		営業利益	251	-	-	-
14	ウェルネス領域計	売上高	24,029	21,400	+2,629	+12.3%
		営業利益	2,127	2,054	+73	+3.6%
15	コーポレートデザイン領域計 (オンワードコーポレートデザイン)	売上高	9,492	9,004	+488	+5.4%
		営業利益	954	908	+46	+5.1%
16	連結合計	売上高	117,525	112,636	+4,889	+4.3%
		営業利益	6,139	5,736	+403	+7.0%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む。なお、ウィゴーは、2026年度より、国内、海外（アジア計に含む）に分けて記載。

2026年度 上期 販路別売上高

販路別売上高 上期実績					
単位：百万円		2026年度	2025年度	増減額	増減率
1	百貨店	24,174	24,895	△721	△ 2.9%
	構成比	23.4%	25.2%		△ 1.7%
2	直営店他	50,424	46,596	+3,828	+8.2%
	構成比	48.9%	47.1%		+1.8%
3	リアル販路計	74,598	71,491	+3,107	+4.3%
	構成比	72.4%	72.3%		+0.1%
4	自社EC	22,507	21,581	+926	+4.3%
	構成比	21.8%	21.8%		0.0%
5	他社EC	6,001	5,807	+194	+3.3%
	構成比	5.8%	5.9%		△ 0.1%
6	EC販路計	28,508	27,388	+1,120	+4.1%
	構成比	27.6%	27.7%		△ 0.1%
7	自社EC比率	78.9%	78.8%		+0.1%
8	売上高計	103,106	98,879	+4,227	+4.3%

※ECマースを運営している以下の国内事業会社10社

オンワード樫山、ウィゴー、オンワードパーソナルスタイル、アイランド、ティアクラスセ、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、KOKOBUY、コスメ・デ・ボーテ

03

2026年度
通期 連結業績予想



2026年度 通期 連結業績予想

		通期予想		対2025年度		対公表値		
単位：百万円		2026年度	2025年度	公表値	増減額	増減率	増減額	増減率
1	売上高	247,000	236,804	247,000	+10,196	+4.3%	0	0.0%
2	売上総利益	135,100	129,415	135,100	+5,685	+4.4%	0	0.0%
	対売上高比率	54.7%	54.7%	54.7%		0.0%		0.0%
3	販管費	122,300	117,811	122,300	+4,489	+3.8%	0	0.0%
	対売上高比率	49.5%	49.8%	49.5%		△ 0.3%		0.0%
4	営業利益	12,800	11,604	12,800	+1,196	+10.3%	0	0.0%
	対売上高比率	5.2%	4.9%	5.2%		+0.3%		0.0%
5	経常利益	12,300	11,176	12,300	+1,124	+10.1%	0	0.0%
	対売上高比率	5.0%	4.7%	5.0%		+0.3%		0.0%
6	当期純利益	11,200	10,094	11,200	+1,106	+10.9%	0	0.0%
	対売上高比率	4.5%	4.3%	4.5%		+0.2%		0.0%
7	EBITDA [※]	18,800	17,195	18,800	+1,605	+9.3%	0	0.0%
	対売上高比率	7.6%	7.3%	7.6%		+0.3%		0.0%

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費等

2026年度 通期 主要事業会社別予想

通期予想

単位：百万円			2026年度	2025年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高	116,730	115,850	+880	+0.8%
		営業利益	7,750	7,240	+510	+7.0%
2	ウィゴー	売上高	31,547	31,310	+237	+0.8%
		営業利益	1,415	1,297	+118	+9.1%
3	オンワード	売上高	11,310	8,283	+3,027	+36.5%
	パーソナルスタイル	営業利益	420	258	+162	+62.8%
4	国内ファッション領域計	売上高	167,367	163,809	+3,558	+2.2%
		営業利益	9,775	8,704	+1,071	+12.3%
5	ヨーロッパ計	売上高	14,730	13,562	+1,168	+8.6%
		営業利益	180	124	+56	+45.2%
6	アメリカ計	売上高	3,200	2,257	+943	+41.8%
		営業利益	10	△ 47	+57	↗
7	アジア計	売上高	10,533	8,435	+2,098	+24.9%
		営業利益	425	365	+60	+16.4%
8	海外ファッション領域計	売上高	28,463	24,254	+4,209	+17.4%
		営業利益	615	442	+173	+39.1%
9	ファッション領域計	売上高	195,830	188,063	+7,767	+4.1%
		営業利益	10,390	9,146	+1,244	+13.6%
10	チャコット	売上高	12,200	10,669	+1,531	+14.3%
		営業利益	1,050	991	+59	+6.0%
11	クリエイティブヨーコ	売上高	7,000	6,875	+125	+1.8%
		営業利益	730	670	+60	+9.0%
12	大和	売上高	24,530	24,085	+445	+1.8%
		営業利益	1,230	1,461	△ 231	△ 15.8%
13	コスメ・デ・ボーテ	売上高	1,670	-	-	-
		営業利益	380	-	-	-
14	ウェルネス領域計	売上高	47,260	43,428	+3,832	+8.8%
		営業利益	3,610	3,329	+281	+8.4%
15	コーポレートデザイン領域計	売上高	19,370	19,121	+249	+1.3%
	(オンワードコーポレートデザイン)	営業利益	2,000	1,822	+178	+9.8%
16	連結合計	売上高	247,000	236,804	+10,196	+4.3%
		営業利益	12,800	11,604	+1,196	+10.3%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む。なお、ウィゴーは、2026年度より、国内、海外（アジア計に含む）に分けて記載。

04

Topics



TOPICS①

カシヤマ | 多様な顧客接点の開発と商品ラインナップの強化により 大幅な増収増益を達成

- オーダーメイドブランド『カシヤマ』を展開するオンワードパーソナルスタイルの上期業績は、売上高が前年同期比42.5%の大幅増収、営業利益は前年同期比10.6倍の大幅増益となった。
- 従来からの都心旗艦店や郊外や地方におけるSC内店舗に加えて、オンワード樫山の百貨店オーダースーツ事業を継承した『カシヤマ プレミアム』を今春より展開中。客単価は『カシヤマ』の約3倍の実績となっており、エグゼクティブ等の客層を拡大していく計画。今夏からアウトレットモール内でトライアル展開している店舗も好調に推移。今後も引き続き、オンラインを含めた多様な顧客接点の構築に注力していく。
- 商品面では、オーダーシャツのスピーディーな生産体制を強化し、売上が前年同期比で倍増。またビジネス用のレディメイド商品（カットソー、シャツ・ブラウス、パンツ等）の販売も開始。今後はコートやニット等も展開し、オーダーメイドだけでは対応しきれないビジネス需要を取り込む。



「カシヤマ」アーバンドックらぽーと豊洲店



TOPICS②

J.PRESS INC. | J.PRESSのブランド価値向上により、 上期においてアメリカ事業の営業黒字転換を達成

- デジタルマーケティング強化の成果により、アメリカJ.PRESS事業の上期売上高は、前年同期比で約1.9倍と急成長を実現し、営業黒字転換を達成。高価格帯のスーツやブレザーの需要喚起、定番商品の在庫拡充が奏功。
- 9月上旬のニューヨーク・ファッション・ウィークに合わせてランウェイショーを開催。9月18日にニューヨーク旗艦店を移設リニューアルオープンし、ブランドの発信力を強化。売上高は前年同期間比（9/18-10/4）で約65%増収で、事前の計画を30%上回る好調なスタート。
- 今後は、ロサンゼルス、サンフランシスコ、シカゴ、ボストン等の主要都市における新規出店を検討。



ニューヨーク旗艦店



Fall/Winter '26 Collection

TOPICS③

しろたん | 地上波テレビのショートアニメ放送開始をいかした事業成長を加速

- 10月3日からテレビ朝日様の地上波でショートアニメ放送がスタート。また各種動画配信サービスでの配信もスタートし、想定以上の反響を獲得。これを契機として、商品ラインナップの拡大やプロモーション施策の強化を実行。
- しろたんライセンス事業の上期売上高は、前年同期比で10%増収と堅調。今春以降、様々な業種の大手企業からのライセンス契約に関する問い合わせが急増中。
- しろたんグッズ販売の新たな拠点として、11月にルクア大阪に「しろたんふんわりストア」をオープン予定。またペット用品ブランド『ペットパラダイス』店舗の活用や業態転換により、しろたんグッズの販売拠点を全国に拡大する予定。



TVアニメ「しろたん」メインビジュアル



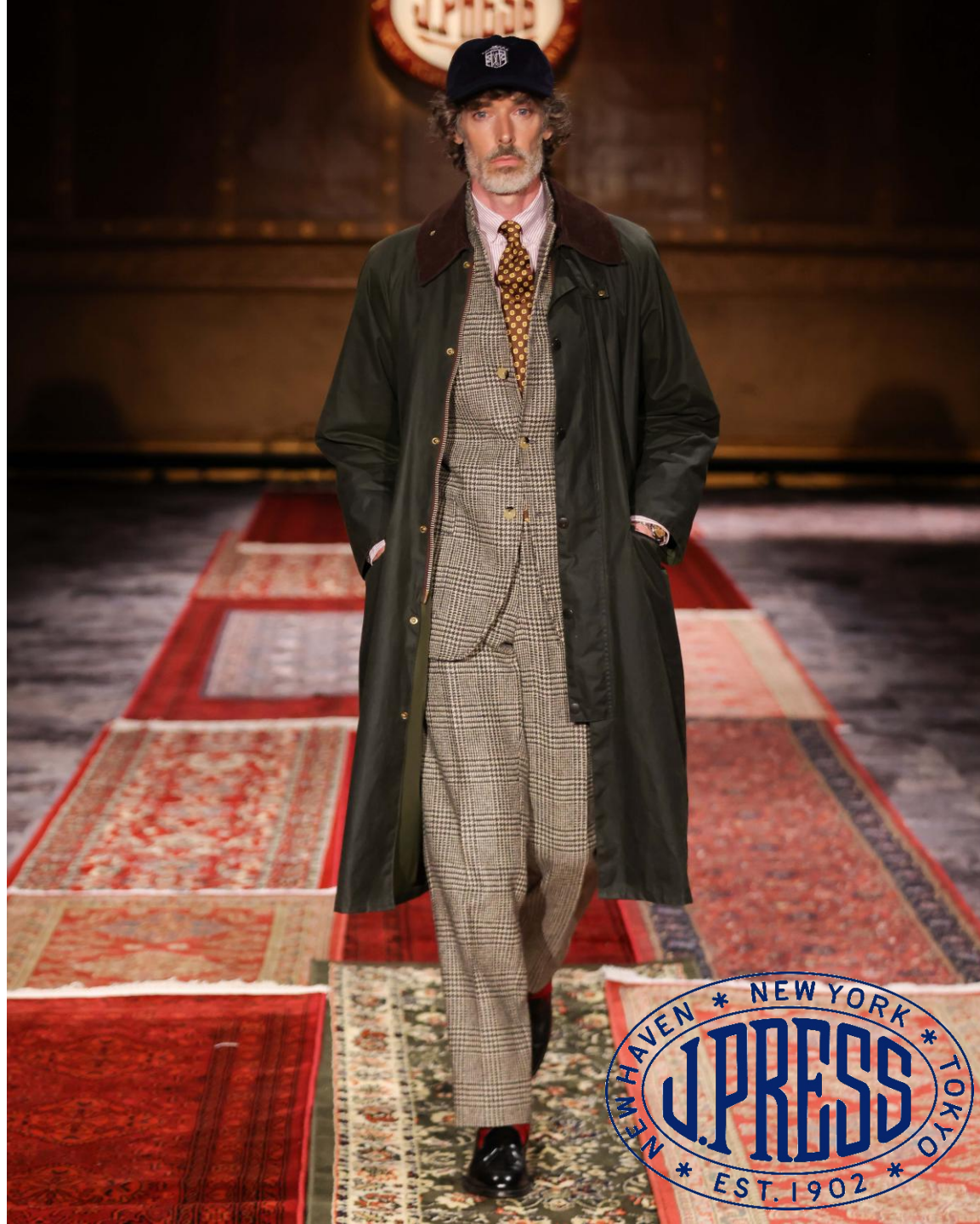
「しろたん×サンリオキャラクターズ」限定商品



「しろたんふんわりストア」池袋サンシャイン60通り店
(ペットパラダイス内、ポップアップスペース)

05

財務状況



2026年度 上期 連結貸借対照表

	単位：億円	2026年度上期末	2025年度末	増減
1	資産合計	1,835	1,892	△ 57
2	流動資産	848	925	△ 77
3	現金及び預金	103	197	△ 94
4	売掛金	172	187	△ 15
5	棚卸資産	517	497	+20
6	固定資産	986	966	+20
7	有形固定資産	435	434	+1
8	無形固定資産	139	115	+24
9	投資その他の資産	412	416	△ 4
10	負債合計	871	956	△ 85
11	買掛金	129	185	△ 56
12	借入金	475	463	+12
13	その他	267	308	△ 41
14	純資産合計	963	935	+28
15	自己資本比率	52.5%	49.4%	+3.1%
16	流動比率	136.4%	134.8%	+1.6%

■ 棚卸資産

ウィゴーの海外出店、オンワードパーソナルスタイルやJ.PRESSの新規店舗拡大のための在庫投資による増加。

■ 無形固定資産

コスメ・デ・ボーテ社の連結子会社化に伴うのれんの増加。

■ 買掛金

2025年度末が休日であったことや、中小受託取引適正化法（取適法、2026年1月施行）に伴う支払サイクル短縮により減少。

■ 自己資本比率

自己資本比率52.5%。前年度末より3.1%増加。

2026年度 上期 当期純利益影響項目

	単位：百万円	2026年度上期	2025年度上期	増減率
1	営業利益	6,139	5,736	+7.0%
2	営業外収益	353	325	+8.6%
3	受取利息・配当金	126	156	△ 19.2%
4	持分法による投資利益	9	-	-
5	為替差益	15	-	-
6	その他	202	168	+20.2%
7	営業外費用	556	539	+3.2%
8	支払利息	351	256	+37.1%
9	持分法による投資損失	-	66	-
10	為替差損	-	84	-
11	その他	205	131	+56.5%
12	営業外損益計	△203	△214	-
13	経常利益	5,936	5,521	+7.5%
14	特別利益	1,411	1,708	△ 17.4%
15	投資有価証券売却益	1,411	1,708	△ 17.4%
16	特別損失	244	730	△ 66.6%
17	減損損失	243	714	△ 66.0%
18	その他	1	15	△ 93.3%
19	特別損益	1,167	978	+19.3%
20	税前利益	7,103	6,500	+9.3%
21	法人税等	1,477	1,677	△ 11.9%
22	当期純利益	5,625	4,822	+16.6%

当期純利益影響項目

- 営業外収益は、持分法対象会社の収益改善による「持分法による投資利益」や「為替差益」の計上により、28百万円の増加。
- 営業外費用は、金利上昇に伴い「支払利息」が増加し、17百万円の増加。
- 以上の結果、経常利益は、前年同期比 7.5% 増の 59億円となった。
- 特別損益は、投資有価証券の売却による 売却益 14億円や減損損失等の減少により前年同期から約2億円の増加。
- 以上の結果、当期純利益は前年同期比 16.6% 増の56億円となった。

2026年度 上期 キャッシュフロー/設備投資/減価償却費

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益、および仕入債務の減少等により37億円の支出。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、コスメ・デ・ボーテ社の株式取得、有形固定資産の取得等により39億円の支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済および配当金の支払等の結果、18億円の支出。

■ 設備投資

- 設備投資額は、前年同期から4億円減少の24億円。
- DX関連や出店関連など投資を厳選し、効率的に実施。

単位：百万円			
2026年度 上期	2025年度 上期	増減額	増減率
2,467	2,883	△ 416	△ 14.4%

■ 減価償却費

- 減価償却費は、前年同期と同水準。

単位：百万円			
2026年度 上期	2025年度 上期	増減額	増減率
2,159	2,145	+14	+0.7%

2026年度 上期主要財務指標

EBITDA

単位：百万円

2026年度 上期	2025年度 上期	増減額	増減率
8,961	8,408	+553	+6.6%

自己資本比率

2026年度 上期末	2025年度 期末	増減
52.5%	49.4%	+3.1%

純資産

単位：百万円

2026年度 上期末	2025年度 期末	増減額	増減率
96,398	93,588	+2,810	+3.0%

流動比率

2026年度 上期末	2025年度 期末	増減
136.4%	134.8%	+1.6%

06

Appendix



KASHIYAMA

オーダーメイドのカシヤマ。

2026年度 上期 戦略強化ブランド実績

23区

上期増収率（前年同期比） $\triangle 0.3\%$

羽織物等の気温調整アイテムや、投入強化したワンピースが好調に推移したものの、気候の変動や天候不順の影響を受け、夏物の動きが鈍化した。



アンフィロ

上期増収率（前年同期比） $+13.5\%$

夏の機能性商材を訴求し、店頭・EC連動販促を強化したが、天候不順やデジタルマーケティングの自粛の影響を受けた。



J.PRESS

上期増収率（前年同期比） $+15.2\%$

アメリカは+90.2%と大幅増収。コラボ企画やイベントで需要を喚起。マーケティング強化を背景に成長。ECは前年同期比約2倍と好調に推移。



WEGO

上期増収率（前年同期比） $+4.7\%$

会員顧客の購買拡大により、レディス商材を中心に実店舗売上が好調に推移。今年度オープンした台湾2店舗も、好調なスタート。



カシヤマ

上期増収率（前年同期比） $+42.5\%$

デジタルマーケティング施策が集客に貢献。生産体制を強化したオーダーシャツが好調に推移。新規オープン店はいずれも好調に推移。



チャコット・コスメティクス

上期増収率（前年同期比） $+23.9\%$

大規模プロモーションにより認知度アップやアウト展開が貢献し、売上が好調。特に季節限定の「クールシリーズ」が好調に推移。



OMOサービス（オンワード樫山）

クリック&トライ

■ 導入店舗数・予約点数の推移

	2026年度上期	2025年度上期	増減
導入店舗数※2026年8月末時	435	428	+7
導入率	75.5%	66.7%	+8.9%
予約客数（名）	67,792	68,587	△ 1.2%
予約点数（点）	142,510	141,910	+0.4%
売上客数（名）	28,741	28,693	+0.2%
売上点数（点）	66,200	65,186	+1.6%
売上（百万円）	1,271	1,227	+3.6%

■ 導入店舗・未導入店舗の売上高（前年同期比）

	2026年度上期	2025年度上期
導入店舗	101%	103%
未導入店舗	96%	97%
差	+5%	+6%

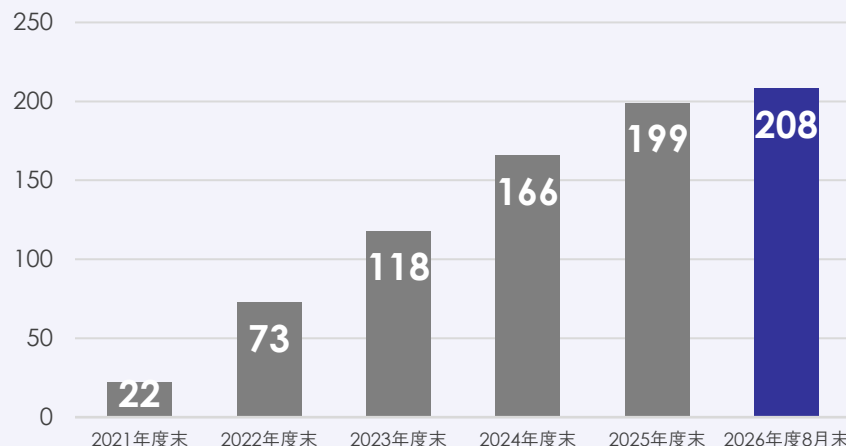
「クリック&トライ」サービスとは

「ONWARD CROSSET」の商品を実店舗でご試着いただけるお取り寄せサービスです。

全国のサービス対象店舗から近隣の店舗を選択いただき、オンラインストアで気になるアイテムを試着して、納得してお買い物を楽しんでいただけます。普段取り扱いのないブランドの取り寄せや、サイズ・色欠品にも対応でき、コーディネート幅が広がって、客単価のUPにつながっています。

オンワード・クローゼットセレクト（ocs）

■ OCS 店舗数の推移



■ OCS 売上高（前年同期比）

	2026年度上期
オンワード・クローゼットセレクト（OCS）	103%
OCS除くリアル店舗 ※アウトレット・路面除く	94%
差	+9%

オンワード・クローゼットセレクト（OCS）とは

ブランドの垣根を越えて様々な商品を取り揃えており、幅広い品揃えのなかでお買い物をお楽しみいただけるブランド複合型店舗です。

ご愛用いただいたオンワード製品を店頭にてお引き取りし、リサイクル・リユースに活用する「オンワード・グリーン・キャンペーン」を毎日実施（一部店舗を除く）。「クリック&トライ」サービスはOCS全店舗で導入しています。

点在していたオンワードショップを、一か所にまとめることにより、店舗効率（人頭効率・坪効率）が格段に上がります。

2026年度 上期 連結販管費

上期実績				
単位：百万円	2026年度	2025年度	増減率	増減要因
1 人件費	21,576	21,364	+1.0%	店舗拡大による人員補強と賃金アップ等の人的資本投資強化による増加。
2 賃借料	15,396	15,409	△ 0.1%	流通経路の構成比の変化や店舗運営効率の改善による減少。
3 運賃運搬費	4,073	3,803	+7.1%	ウィゴアのアジア出店やJ.PRESS（アメリカ）などEC売上の増加等に伴う配送料の増加。
4 広告宣伝費	4,369	4,104	+6.5%	『チャコット・コスメティクス』、『カシヤマ』、J.PRESS（アメリカ）などのプロモーション施策による増加。
5 減価償却費	1,749	1,760	△ 0.6%	前期末実施したオンワードコーポレートデザインの不動産売却等による減少。
6 その他	10,704	10,332	+3.6%	コスメ・デ・ポーテ連結化に伴うのれん償却費、EC売上の増加に伴う販売手数料の増加など。
7 販管費計	57,867	56,772	+1.9%	

2026年度 事業領域別 実績・予想

		上期実績				下期予想				通期予想			
		2026年度	2025年度	増減額	増減率	2026年度	2025年度	増減額	増減率	2026年度	2025年度	増減額	増減率
単位：百万円													
ファッション領域	1 売上高	91,831	89,026	+2,805	+3.2%	103,999	99,037	+4,962	+5.0%	195,830	188,063	+7,767	+4.1%
	2 売上総利益	50,927	50,371	+556	+1.1%	58,003	54,728	+3,275	+6.0%	108,930	105,099	+3,831	+3.6%
	(対売上高比率)	(55.5%)	(56.6%)		(△ 1.1%)	(55.8%)	(55.3%)		(+0.5%)	(55.6%)	(55.9%)		(△ 0.3%)
	3 販管費	46,859	46,772	+87	+0.2%	51,681	49,181	+2,500	+5.1%	98,540	95,953	+2,587	+2.7%
	(対売上高比率)	(51.0%)	(52.5%)		(△ 1.5%)	(49.7%)	(49.7%)		(0.0%)	(50.3%)	(51.0%)		(△ 0.7%)
ウェルネス領域	4 営業利益	4,068	3,599	+469	+13.0%	6,322	5,547	+775	+14.0%	10,390	9,146	+1,244	+13.6%
	(対売上高比率)	(4.4%)	(4.0%)		(+0.4%)	(6.1%)	(5.6%)		(+0.5%)	(5.3%)	(4.9%)		(+0.4%)
	5 売上高	24,029	21,400	+2,629	+12.3%	23,231	22,028	+1,203	+5.5%	47,260	43,428	+3,832	+8.8%
	6 売上総利益	12,734	11,790	+944	+8.0%	12,676	11,505	+1,171	+10.2%	25,410	23,295	+2,115	+9.1%
	(対売上高比率)	(53.0%)	(55.1%)		(△ 2.1%)	(54.6%)	(52.2%)		(+2.4%)	(53.8%)	(53.6%)		(+0.2%)
コーポレートデザイン領域	7 販管費	10,607	9,736	+871	+8.9%	11,193	10,230	+963	+9.4%	21,800	19,966	+1,834	+9.2%
	(対売上高比率)	(44.1%)	(45.5%)		(△ 1.4%)	(48.2%)	(46.4%)		(+1.8%)	(46.1%)	(46.0%)		(+0.1%)
	8 営業利益	2,127	2,054	+73	+3.6%	1,483	1,275	+208	+16.3%	3,610	3,329	+281	+8.4%
	(対売上高比率)	(8.9%)	(9.6%)		(△ 0.7%)	(6.4%)	(5.8%)		(+0.6%)	(7.6%)	(7.7%)		(△ 0.1%)
	9 売上高	9,492	9,004	+488	+5.4%	9,878	10,117	△ 239	△ 2.4%	19,370	19,121	+249	+1.3%
	10 売上総利益	2,601	2,515	+86	+3.4%	2,719	2,626	+93	+3.5%	5,320	5,141	+179	+3.5%
	(対売上高比率)	(27.4%)	(27.9%)		(△ 0.5%)	(27.5%)	(26.0%)		(+1.5%)	(27.5%)	(26.9%)		(+0.6%)
	11 販管費	1,647	1,607	+40	+2.5%	1,673	1,712	△ 39	△ 2.3%	3,320	3,319	+1	+0.0%
	(対売上高比率)	(17.4%)	(17.8%)		(△ 0.4%)	(16.9%)	(16.9%)		(0.0%)	(17.1%)	(17.4%)		(△ 0.3%)
	12 営業利益	954	908	+46	+5.1%	1,046	914	+132	+14.4%	2,000	1,822	+178	+9.8%
	(対売上高比率)	(10.1%)	(10.1%)		(0.0%)	(10.6%)	(9.0%)		(+1.6%)	(10.3%)	(9.5%)		(+0.8%)



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。